



カザフスタン

49 鉄道輸送力増強事業

カザフスタンと中国の鉄道網を結ぶ既存軌道の修復、国境鉄道駅の積み替え能力増強等により、鉄道輸送需要に対応した輸送能力の強化・安全性向上を図り、もって中国との貿易拡大を通じた経済発展に寄与する。

承諾額/実行額 72億3,600万円／71億5,700万円
 借款契約調印 1995年12月
 借款契約条件 金利3.0%、返済25年（うち据置7年）、一般アンタイド
 貸付完了 2001年5月



外部評価者 前川晶（インテムコンサルティング(株)）
 現地調査 2003年11月

評価結果

本事業では、入札最低価格が予算を超過したため、軌道修復は特に損傷の著しい区間のみを借款対象とし、残りの部分は実施機関であるカザフスタン国鉄（総延長14,200km）の自己資金により実施されたが、設備はほぼ計画通り完成した。期間は、事業対象設備の優先順位の見直し等によって計画を上回ったが、事業費はほぼ計画通りであった。本事業によって、対象区間（約900km）の貨物輸送量は249億8,500万トン・キロ（1998年）から341億2,000万トン・キロ（2002年）へと増加した。また、乗客輸送量は年間約1,500万人となっている。さらに、中国国境のドルジバ駅での貨物積み替え能力は、22万トン（98年）から80万トン（02年）へと増強され、中国との貿易拡大に寄与している。あわせて、所要時間短縮や事故の減少も達成された。一方、本事業によってカザフスタン最大の都市アルマティに新設された客車修理工場の実績は、技術者やスペアパーツ不足等の理由により、02年の計画値300両に対して、

実績は135両となった。同国の貨物輸送における鉄道輸送の比重は極めて高く、当行は97年に実施した調査で、実施機関関連企業の民営化、戦略企画部門の創設等を提言しており、同調査の結果も踏まえ、現在カザフスタンの鉄道セクターは構造改革の最中にある。実施機関の分社化が進行するなか、客車修理工場も03年に独立会社となったため、スペアパーツ等の迅速な調達が可能となり、研修により技術者の技能も向上している。実施機関の技術、体制、財務面については問題はない。

第三者意見

本事業により、貨物の約7割、旅客の約5割を占める鉄道の輸送力が強化され、特に中国との貿易拡大によって新ビジネスの発展、就業機会の増加が期待される。

有識者 Ms. Olga Kuznetsova

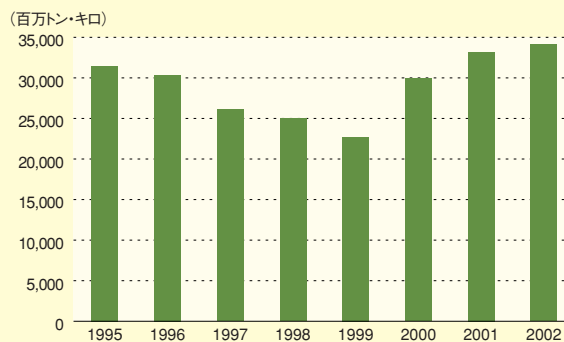
カザフ州立経営学士院博士課程修了（経済学）。現在国際ビジネス学士院学長。専門は経営、市場経済、管理など。

本事業で新設されたアルマティ客車修理工場の内部



カザフスタンの鉄道セクター構造改革により、今後の修理実績向上が期待される。

アルマティ～アクトガイ～ドルジバ間貨物輸送量



注) 1999年12月に軌道修復、迂回路建設、ドルジバ駅積替機器調達等が完了
 出所: カザフスタン国鉄

1999年以降中国との貿易が活発になったこともあり貨物輸送量は増加している。